



白亜の学舎



令和7年11月13日発行
山田中学校通信11月号
文責 校長 坂田 続穂

春に向けての冬到来！

11月7日（金）は立冬。その日に、3年保護者を対象に第2回進路説明会を行いました。3年生は、いよいよ来春の自分の姿に向けて進路を決めていく重要な時期となりました。説明会では、高校入試の日程や必要な手続等について学校より説明を行っています。近年、県立高校では「特色化選抜」や「第2志望校制度」が導入されるなど、入試日程や出願方法が複雑になっています。今年度は、私立高校によっては学科に変更があったり、県立高校も私立高校に続いてWEB出願となったりしています。意識してほしいのは3年生だけではありません。2年生は来年のこの時期、1年生も再来年、中学校の次の進路決定があるということです。1・2年生の段階から進路について意識をしていくことができるように、ご家庭でも進路情報についてのアンテナを高く持つ等の、ご協力をお願いいたします。

3年生の皆さんは、自分の行きたい進路をしっかりと見定め、これから始まる受験に向けて健康に留意しつつも、日々の授業や家庭学習に全力で取り組みましょう！
また、1・2年生も中学校卒業後の自分の姿を意識して日々の学校生活を全力で取り組みましょう！

【令和8年度入学の私立・公立高校の入試の流れ】

私立高校

専願・推薦入試

/

一般入試

/

2次試験



合格すれば必ず入学

合格すれば入学もしくは
公立高校受験を選択

筑豊地区では福智高校のみ

公立高校

特色化選抜入試

・ 推薦入試

/

一般入試（第2志望校志願可）

/

補充募集

高校が示す出願資格
（3年次の評定など）
を満たす者が受検
合格すれば必ず入学

校長の推薦を
受けた者が受検し、合格すれば必ず入学

合格すれば入学もしくは合格私立高校への入学を選択
不合格で第2志望校合格の場合は第2志望校へ必ず入学

合格者が10人以上定員を下回った学科で実施

今月の君たちに贈る言葉 「困難は分割せよ」

これは、中学校3年生の国語で学習する「握手」という作品の登場人物ルロイ修道士の言葉です。「握手」は、もう35年以上も前から教科書に載っている作品です。「うまくいかない時こそ、物事を細かくして、一つ一つ地道に片付けていきなさい」というルロイ修道士の遺言です。勉強に対して言われたことではありませんが、勉強もすればするほど、学ぶことの多さに気が



つき、あせります。「あれもしていない、これもしていない」、「時間がない、どうしよう」と。そんな時に、ぜひこの言葉を思い出し、焦らず、一つ一つ確実に自分のできること（内容）を増やして自信をつけてほしいと思います。

中体連新人大会結果



3年生引退後、新チームで新人大会を頑張りました。応援ありがとうございました。

【サッカー】稲築東義務と合同チーム 嘉飯大会：予選敗退

【バレー女子】嘉飯大会：3位予選敗退

【バレー男子】嘉飯大会：4位筑豊大会進出（12月20日）

【バスケット男子】嘉飯大会：予選敗退

【バスケット女子】嘉飯大会：予選敗退

【吹奏楽部】中文連総合文化祭 参加



福岡県中学生英語スピーチコンテスト出場

11月8日（土）に嘉穂高校の潤陵館でスピーチコンテストが開かれました。筑豊地区の各中学校の生徒が、各自で作成したです。本校からは3年生の山口結子さんが「Learning Peace through History and Memories」と内容で出場しています。高校の講堂のステージという大舞台でジェスチャーを交えながら、堂々と美しい発音で立派に発表しました。



山田ブギウギ祭り

11月9日（日）に、「山田ブギウギ祭り」が開催されました。本校からも中村先生とたくさんの生徒がボランティアとして参加し、曇天の中でしたがブギウギ祭りを盛り上げました。また音楽イベントに久保田先生率いるバンドも出場し、たくさんの拍手をいただきました。



全国学力学習状況調査結果から

昨年より上昇はしましたが、国語や数学において、「根拠を明確にして考える」「根拠を基に数学的に説明する、証明する」という記述式の問題に課題があるようです。知識等を問う問題で国語は、

「言葉の特徴や使い方に関する事項」、数学では「相対度数の意味」、「一次関数における増加量や変化の割合の意味」、「図形の証明」などに課題が見られました。質問紙調査では、「自分にはよいところがあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」は全国と比べて高い傾向がありましたが、「朝食を毎日食べている」「学校の授業時間以外に1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか」等は、全国と比べて低い傾向が見られました。

全国学力・学習状況調査

山田中学校

1 調査目的等

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

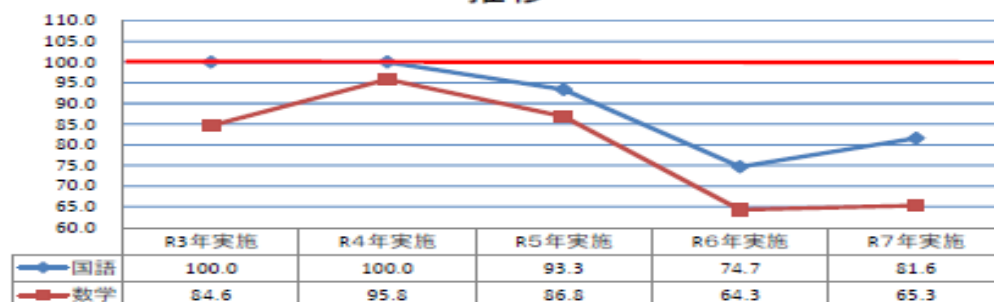
2 学校における学力向上に向けての取組

【授業づくり】
・授業のグランドデザイン(めあて～振り返り)に基づいた授業展開の実施
・CD層の生徒にも思考活動にスムーズに取り組めるような、ICTを効果的に活用した授業展開の工夫
【学力の基盤づくり】
・基礎的・基本的な知識・技能を習得するための朝のモジュール学習と家庭学習の連動
【家庭学習の充実】
・CD層を中心とした個別の家庭学習の取り組み方についての教育相談の実施
・校区で取り組むノーメディアチャレンジ週間の実施
【組織づくり】
・学力向上に向けた取組の検証や改善をするための、学力向上検証委員会の実施

3 調査結果(全国の平均正答数を100としたときの標準化得点)

	国 語	数 学
本校	81.6	65.3
嘉麻市	81.6	68.1
全国	100	100

推移



4 各学校における分析

【国語】

- ・CD層の生徒の割合が65.0%(全国比+17.8)
- ・知識・技能に関する問題の正答率36.3%(全国比-11.8)
- ・思考・判断・表現に関する問題の正答率45.8%(全国比-9.5)

【数学】

- ・CD層の生徒の割合が70.0%(全国比+21.1)
- ・知識・技能に関する問題の正答率40.3%(全国比-14.1)
- ・思考・判断・表現に関する問題の正答率17.5%(全国比-21.6)

両教科とも問題で問われている内容の把握や自分の考えを表現することができていない。その要因として、

- ①授業における思考活動の内容が不十分である。
- ②知識・技能に関する基礎・基本の定着が図れていない。
- ③単元テストや考査のテスト問題と全国学力・学習状況調査の問題内容が乖離している。

5 各学校における今後の取組

【授業づくり】

- ・授業のグランドデザインの見直しから思考活動の場面の充実
- ・授業で主体的に学ばせるために、自己選択・自己決定をさせる場面の設定
- ・指導と評価の一体化を意識した単元づくりの充実を図る研修の実施

【学力の基盤づくり】

- ・数学と英語に特化したCD層を中心とした学力向上を図るための朝のモジュール学習の充実
- ・生き方学習(学習の大切さや自己啓発等)に関する総合的な学習の時間及び学活の設定
- ・学級で目標を立て、目標に向かってCD層の生徒も主体的に取り組める学習コンクールの設定

【家庭学習の充実】

- ・校区で取り組むノーメディアチャレンジ週間の実施
- ・考査前の計画的な学習計画づくりの実施

【組織づくり】

- ・学力向上に向けた取組の検証や改善をするための、学力向上検証委員会と主題研究との連動
- ・各教科での評価規準の明確化と細かな見取り(小テストや単元テスト等)の推進のための研修の実施
- ・同教科の教員による考査問題の検討や全国学力・学習状況調査問題の内容についての研修の実施

6 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- 子どもが進んで問題解決を図る授業づくりを推進することで、主体的に取り組む態度とともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- 小・中・義務教育学校とも、単元テストをもとに短いスパンで評価することを通して、一人一人の学習の定着状況を見とるとともに、個に応じた授業づくりを推進し、C・D層の子どもの学力向上を図る。
- 家庭学習の充実や帯学習の取組など、組織的な学力向上の取組を構築することを通して、基礎基本の定着を図る。